

ことばの研究社  
TEL 086-486-1742  
FAX 086-486-1744  
kotoba\_ken@yahoo.co.jp

**シリーズ3、就労時間を確保して日本語力を高める方法  
学習方法次第で、教育効果が大きく変化する！！**

- ※ 弊社には昨年、12月に急遽、学習指導依頼が飛び込んできた。その理由は、日本語教師が「もうこの子には教えられない」等と言い、教育放棄をしたからだ。
- ※ 弊社には、このような例が年に何件もある。全くできなかった学習者は、3か月目で日常業務ができ、利用者との対応・会話も十分に果たせる状態に変化した。

- ※ この学習者の学習時間量は1回2時間、週一回だ。主な指導方法は、「自学の仕方」と「発話指導」で「能動的言語力」の養成を中心とした。
- ※ 現在では、日本語に関する質問があれば、LINEでやり取りをし、その構文力も日本人並みだ。このことは、教育指導方法次第で変化することを表す。

**I、【自学できる力を養うことが、最大の最善策だ！！】**

**【自学できる教材が、決め手だ！！】 (表1参照)**

- A、自学とは、自分一人で考えながら学ぶことだ。日本語学習の場合は、文字が三種類（ひらがな・カタカナ・漢字）があるために、まずは、ひらがな文字から習得し、カタカナ文字はひらがな文字から類推して習得することができる。そして、漢字はひらがな、カタカナが同じ読みであれば類推して読める。この様な教材は【自学教材】だ。
- B、文の場合、新たな漢字を読む場合は、その前の文でひらがな文字で予告するような文があれば、新しい漢字でも類推して読める。即ち、これを【予告文】と言うが、テキストに【予告文】があるものであれば、一人でも読むことができる。これを【自学テキスト】と言う。

**II、【自学能力があれば、教育効果も高い！！】**

**A、【能力に合った教材選定が、決め手だ！！】 (表2参照)**

子供に大人の本を与えて読ませても理解できないのと同じく、能力に見合う教材を選ぶ必要がある。そのためには、マークシート式試験ではなく、「構文式試験」で本当の能力を把握することが重要だ。その上で、学習方針を決定し、方針に従って教材を選定することが必須だ。この意味ではマークシート式の日本語能力試験は、本当の能力を表せないの、重要視すると大きく判断を誤ることになる。

**B、【学習計画を作り学習進捗を明確にすることが、重要だ！！】**

学習計画は、電車で例えるなら「線路」の役割と同じだ。線路から脱線すると目的地に辿り着かない。効率的に教育効果を上げるためには、学習計画を作り、方向性と学習進捗を設けることが重要だ。教師は「自学方法を指導する」能力がなければならない。一般の教師には、言葉を教えたり、助詞や文の作り方を教える等と勘違いをしている者がとても多い。

しかし、重要なことは、一人で学習し続けられる「自学の仕方」を指導することが教師の役割だ。学習者は「自学の仕方」が分かれば、当然ながら、言語能力を自分で養うことができるのだからだ。

**III、【実感できる教育効果を作り出すことが、重要だ！！】**

**A、【学習結果が体感できなければ、意欲は減少する！！】 (表3参照)**

日本語学習時間が何時間、何百時間あったとしても、「自学の仕方」の指導を受けていない限り、教育効果を自分自身で感じられない。そのため、学習者は学習した時間量に見合う結果が体感できないために、学習意欲が減少してしまうのと同時に、興味もなくなるのだ。

**B、【実感できれば、向上心がわく！！】**

学習効果の測定は第三者から見て、日本語力の変化があると確認できることが重要だ。そのことにより職員対応が変わるため、学習者は「日本語を使える」と体感できる。その結果、学習意欲が増大するのだ。「体感」とは、学習結果を自分で感じ取ることだ。また、「実感」とは、自分並びに第三者から見て、日本語力の変化が感じられ、客観的に評価された体感を言う。だからこそ、学習者にとっては、実感できる日本語力を身につけることが重要だ。

表1、【自学できる教材】

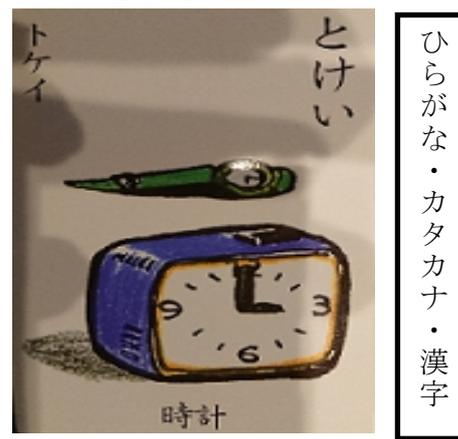


表2、【自学能力の育成図】

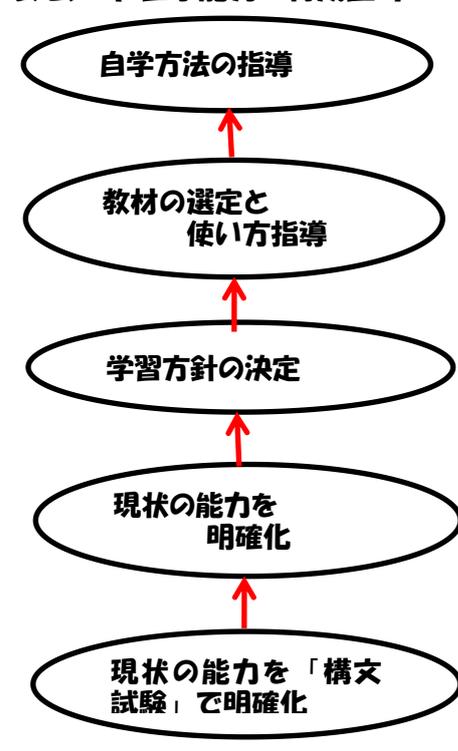
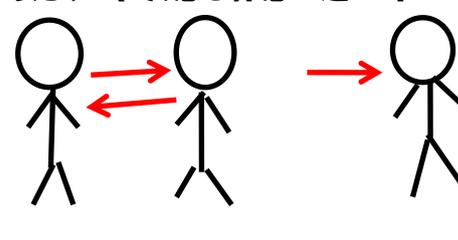


表3、【実感と体感の違い】



# 到達度試験参加者の「質問の声」！！

※ 弊社の ZOOM 授業を受けいている学習者は、EPA 候補者の他に特定・技能実習生の参加者も増えてきた。到達度試験参加者は、平均 3 か月間もあれば日本語力の変化を体感し、**実感**できていることが特徴だ。

※ 授業は、「日本語の規則性と用法、発話指導、自学学習の仕方」を中心に指導している。学習者から日々、沢山の質問を受けるが、今回は「基礎言語能力段階」の指導の中からの声を紹介する。

## 【助詞の使い方について】

「や」の言葉は、どんな時に使いますか？  
「と」と同じですか？ (フィリピン・Mさん)

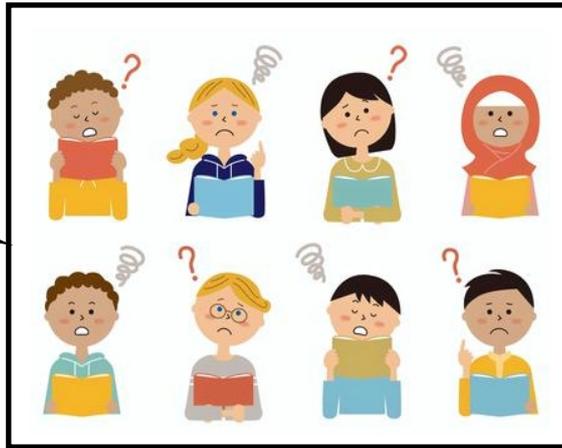
## 【日本語の言葉の意味について】

日本人は「食べ物・飲み物」と言いますが、「食べる物・飲む物」と同じですか、違いますか？ (ミャンマー・Nさん)

## 疑問・質問を ZOOM 授業で指導

### 【指示語の使い方について】

どんな時に「どっち」、どんな時に「どれ」を使いますか？  
(ベトナム・Tさん)



### 【言葉の意味について】

「口口達」と「口口等」はどう違いますか？  
(インドネシア・Tさん)

### 【否定文について】

話す時、「じゃありません」とよく聞きます。「では ありません」と同じですか、何が違いますか？  
(モンゴル・Jさん)

### 【否定文について】

「では ありません」と「には ありません」がよく分かりません。何が違いますか？  
(フィリピン・Vさん)

### 【ある・いるについて】

人は「いる」物は「ある」です。木や花は生きているのになぜ、「ある」ですか？  
(中国・Sさん)

ことばの研究社では、【体験授業】を実施しています。入職してすぐの人、二年目、三年目、延長の人、どなたでも参加できます。

## 【ZOOM 体験授業 (1 時間) のメリット】

- 1、無料でできる
- 2、好きな時間にできる
- 3、少人数 (五人まで) でもできる
- 4、双方向で会話ができる
- 5、日本語能力のレベルが確認できる
- 6、楽しく、面白くできる

【問合せ先】 [kotoba\\_ken@yahoo.co.jp](mailto:kotoba_ken@yahoo.co.jp)

086-486-1742



## 施設の声

### 事業団は施設に事務手続きを丸投げ！！

- EPA と特定・技能実習生が在籍している。EPA は今後受け入れしない方針だ。その理由は年齢が高いこと、人材の質が下がっていること、国家試験に合格しても定着しないことなどだ。
- 受け入れ費用が高い上、日本人と同等の給与を支払うということは、経費負担が大き過ぎる。さらに、学習時間を取らせるために、業務をさせる時間が少なくなるので、受入れする施設はメリットがない。
- 事業団が受け入れ窓口なのに、入国の事務手続きなどを施設に丸投げしているのは、契約上おかしいと思っている。丸投げの事務手続きが施設が一番の負担になっている。
- 特定・技能実習生は 20 代前半が多く、物覚えも早い。また、日本語に関しても関心度が高く、ゆくゆくは国家試験受験を希望する人もいる。一番のメリットは学習時間を与える必要がなく、業務に専念できることだ。給与も EPA よりも安いために、人件費の負担が少ない。管理団体は、事業団とは違い入国事務手続きを全てするので、施設の負担が軽いのが一番のメリットだ。

(東京都・K 施設)

### 地域社会に馴染めない者は都会に行く！！

- EPA を継続的に受け入れてきたが、合格者が全て首都圏に移り、一人も残っていない。その原因は、候補者間の横のネットワークや情報を集めて、給料の額面を比べられて、より高い首都圏の施設に移ってしまうからだ。首都圏では家賃や生活費などが高いのに、そのことを理解せずに移転してしまう。彼女達が地域社会に馴染めなかったために、都会の魅力に惹かれてしまったのだろう。このことを考えると、生活指導でもっと地域社会に馴染めるように努力すれば良かったと思う。
- 今は日本語力が高い特定・技能実習生を極力、受け入れられるように方針を転換している。EPA のように学習時間を取らなくても良いし、人手不足の中、業務時間を確保できるので良い。

(岡山県・U 施設)

### 日本語は自宅で学習するよう指示！！

- EPA 受け入れはしない方針で、今は特定・技能実習生を受入れている。日本語能力は EPA と変わらない。人手不足の中、業務中での学習時間を取らなくて良いことが助かる。
- 利用者とのコミュニケーションは大切なので、無理のない範囲で自宅で日本語を学習するようには指示しているが、そのやり方が分からず困っている。

(愛知県・A 施設)

### 事業団の対応は不誠実だ！！

- 4 年ほど前に EPA を初めて一人受け入れたが、妊娠してしまい、途中帰国してしまった。その時に、事業団にも相談したが「当人の問題」ということで何の解決策も出なかった。施設は既に、事業団に多額の受け入れ費用を払っているのに、途中帰国であっても一切返金がないのはおかしいと考えている。
- このようなことがあってから、EPA 受け入れを辞めてしまった。その理由は、受け入れ費用が高いこと。さらに、途中帰国等であっても一切返金されないこと。また、週一回の日本語学習時間を取るようにと、強制されることだ。人手不足の中、施設が多額の費用がかかる(アパート・身の回りの備品など)準備しなくてはいけないことに疑問を抱いたので、受け入れをやめた。
- その後、近くの専門学校と繋がりができて、留学生を受け入れるようになった。今年 4 月から一人が職員として働くことになっている。他二人は学校に通学中だ。
- どこの施設も同じだろうが、外国人が多くなると現場が対応に一番大変で、混乱する可能性がある。だから、是非、ことばの研究社のレクチャーを聞いて参考にしたいと思う。

(新潟県・M 施設)

### 日本語力がないと現場は大混乱！！

- 留学生と技能実習生を受け入れている。現場業務での悩みなどが職員からの声で上がってきていないが、生活面でのサポートや対応が難しいと言う声は現場から上がっている。
- 一番最初に EPA 候補者を受け入れてその人が N2 レベルの能力があり、日本語は一応話せていた。その人が技能実習生や留学生の対応をしていた。職員と日本語だけで意思疎通ができない時は、通訳の役割も担っていた。
- この人がいなくなったり、人数が増えてきたら日本語力がないために、この方法では大混乱が必ず起きると思っているので、解決策を教えてください。

(千葉県・R 施設)

### EPA も特定技能実習生も日本語力が低い！！

- EPA と特定技能実習生を受け入れている。今後の受け入れに対しては、円安のため、来日者が少なくなって来るのではないかと思うが、どうなんだろうか。他国に行く人が多くなっているのではないかと個人的に感じている。
- 日本語力に関していえば、EPA でも特定技能実習生でも差はない。しかし、そのレベルがとても低い。その上に、人数が増えると現場も対応の仕方に苦労したり、人それぞれ能力も違うので指導の仕方も工夫しなければいけない。良いアドバイスがあれば教えてください。

(愛知県・G 施設)